

平成25年度 世界の主な水関連災害（アジア地域）

インド・ネパール(平成25年6月)
早期到来のモンスーンによる豪雨により、インド北部やネパールを中心に洪水、鉄砲水、土砂崩れなどが発生。死者はインド全土で6,290名、ネパールで60名にのぼる。

バングラデシュ(平成25年5月)
バングラデシュに上陸したサイクロン「マヘン」は、豪雨と暴風雨をもたらし、死者は17名にのぼり、沿岸部に住む956,672名が3,200箇所の避難所へ避難した。

中国(平成25年5月)
降り続く豪雨により、中国南部の10地域で洪水や土砂崩れが発生し、17日午前8時までに55名が死亡、14名が行方不明となった。

中国(平成25年8月)
降り続く豪雨により、中国北東部、ロシア極東部で国境を流れる河川等が氾濫し洪水が発生した。中国での死者は85名、行方不明者は105名にのぼる。

中国(平成25年8月)
8月14日に中国へ上陸した台風「Utor」の豪雨により中国南部で洪水が発生。800万人以上が影響を受け、70名が死亡、18名が行方不明となった。

インド(平成25年10月)
インド東海岸にサイクロンPhailinが上陸し、死者46名が報告されている。サイクロンの進路となったオディシャ州、アンドラプラデシュ州では90万人の避難が実施された。

インド(平成25年10月)
10月25日、インド東海岸のオディシャ州、アンドラプラデシュ州などで鉄砲水が発生、死者数は67名にのぼる。

サウジアラビア(平成25年4月)
約2週間降り続く豪雨により各地で洪水・鉄砲水が発生し、サウジアラビアでの死者は25名、オマンでは11名、イラクでは4名となった。

タイ(平成25年9月)
雨季における多雨の影響で、タイにある77の県のうち47県で洪水が発生した。死者数は80名にのぼり、工業団地の浸水も報告された。

アフガニスタン、パキスタン(平成25年8月)
モンスーンに伴う豪雨で洪水、鉄砲水が発生。死者数はアフガニスタンで75名、パキスタンで193名にのぼる。

インドネシア(平成25年7月)
豪雨により、約1年前に形成された天然ダムが決壊し、これによる洪水で、死者1名、行方不明者3名、負傷者32名の被害が出た。

フィリピン(平成26年1月)
低気圧の影響による1月11日頃からミンダナオ島東部では豪雨に見舞われ、洪水や土砂崩れ被害が発生した。低気圧はその後、熱帯低気圧「AGATON(アガトン)」へ勢力を強めた。川の氾濫や道路・橋の破損も発生。死者70名、行方不明者9名にのぼる。

フィリピン、中国(平成25年9月)
勢力の強い台風「USAGI」が暴風雨をもたらし、洪水や土砂崩れが発生。死者はフィリピンで31名、中国で27名にのぼる。

フィリピン(平成25年11月)
2013年に発生した台風としては最も強い台風「HAIYAN」が、11月8日午前フィリピンの東サマル州に上陸し、レイテ、セブ、パナイ島を横断し、9日午前南シナ海へ抜けた。この台風の影響により死者は3国で6,292名、行方不明者1,065名にのぼる。

ベトナム(平成25年11月)
熱帯低気圧に伴う豪雨の影響で、ベトナム中部で洪水が発生。死者42名、行方不明者5名にのぼる。

ベトナム、カンボジア、ミャンマー(平成25年9月)
雨季における多雨の影響、また台風によりさらに悪化した豪雨により、洪水が発生した。ベトナムでは死者40名、カンボジアでは188名、ミャンマーでは1名の死者がでた。

中国、台湾(平成25年7月)
豪雨により中国で洪水、土砂崩れ等が発生、また7月13日に台風「Soulik」が台湾および中国海岸部を襲った。これらにより、死者数は120名、行方不明者192名にのぼる。

中国、ベトナム(平成25年9月)
台風WUTUPIに伴う暴風雨により洪水が発生、ベトナムでは死者11名、行方不明者5名が出ており、またベトナム上陸前に南シナ海で中国漁船が沈没し死者4名、行方不明者58名となった。

現地調査実施災害

死者	～50名
死者	～100名
死者	～500名
死者	～1000名
死者	1000名～

集計期間：
平成25年4月～平成26年3月

※先進国で死者10名以上、途上国で死者数50名以上の洪水を抽出

平成25年度 世界の主な水関連災害（アジア地域以外）

